

地質ニュース

昭和43年10月 第170号 1968

工業技術院創立20周年記念特集

工業技術院創立20周年に際して	朝永良夫
海洋資源開発研究の推進について	工業技術院計画課
地質調査所における海の調査研究活動の発展	坊城俊厚・1
海底の金属鉱物資源 海底に存在する鉄マンガン金属塊	丸山修司・8
注目される大串海底珪石鉱床の開発	山田正春・15 井上秀雄
第5回アジア沿海鉱物資源共同探査調整委員会	嶋崎吉彦・24
わが国の海底炭田	徳永重元・28
海洋油田の開発	牧野登喜男 伊藤武・35 石和田増章
大陸棚ショートボーリング法	河内英幸 野口勝・46 後藤進夫 中川忠夫
海洋開発と物理探査	瀬谷清・52
海底沈殿物研究の歩み ソ連の場合	岸本文男 訳・57
学会掲示板	45
地学と切手	堀内恵彦・45

資料

編集 地質調査所

表紙の写真

固定プラットフォーム型の頸城第2人工島である。距岸1,200m 水深15mで 昭和38年9月に 1号井が開坑されて以来 16坑が掘さくされ 今日まで累計1億5000万m³の天然ガスを産出した。これは直江津東方の大潟町沖合にあるが その後 さらに同型の第3人工島 および若干改良を加えた第4人工島が西方海域に建設され稼働している。

(解説 石和田増章 写真 帝国石油(株))

発行 株式会社 実業公報社